桜ヶ丘だより

第25号
発行所
関高等学校同窓会
岐阜県関市桜ヶ丘2丁目
郵便番号501-32
電　話(0575)22－5688
ＦＡＸ(0575)22－5688
印刷／ムトウプリント

〈校　訓〉
錬至進
磨誠取

平成五年度 同窓会幹事会

会長　広瀬恒行

五月十五日、平成五年度の幹事会が各回幹事四〇余名の出席により開催され、四年度の事業・会計報告、五年度の事業計画・予算等をご承認いただきました。

今年度は、毎年皆様にお届けする、このささやかな〝桜ケ丘だより〟の発行が第一の仕事ですが、ご承知のようにこれは皆様から隔年に納入していただく通常会費(二千円)によって賄われているのですが、四年度の納入は一九三六名で三七〇万円余でした。

会報委員会の皆様に何度もお集まりいただき、やっと出来上がるこの〝桜ケ丘だより〟は一回の発行に約一五〇万円の経費が掛かります。資金の余裕があれば年に二回の発行もできるのですが、全同窓生の十二%の会費納入率ではそれもかないません。

もし昨年依頼しました納入用紙を紛失されたかたがありましたら、郵便局までご足労いただき、払込用紙に住所・氏名・卒業回をご記入の上、名古屋五－二七八四五「岐阜県立関高等学校同窓会」までご送金頂けないでしょうか。お願い申し上げます。

ご挨拶

学校長　高田晃

このたび七十有余年の歴史と伝統をもつ名門関高等学校に勤務させていただくことになりました。微力ではありますが、歴代の校長先生方の業績をしっかりと受け止め、本校発展のために精一杯努めるの所存であります。

さて、今春の本校卒業生の進路状況では、京都、一橋、名古屋大などの国公立大学に百十五名、早稲田、慶応、南山大など四年制私立大学に六百十八名の合格者を出しています。最近、本校卒業生はほとんど全員が大学へ進学し、しかも四年制大学進学希望が九割を越えるようになってきています。一方、部活動では一・二年生の九十%以上の生徒が参加し、連日活発に活動を続けています。陸上競技四種目、剣道女子個人が東海高等学校総合体育大会に出場したり、吹奏楽部が東海地区で選ばれて全国高等学校総合文化祭に出場するなど、関高等学校は、今も大いに文武両道の名をあげております。

ところで、今教育界では、国から総合学科、単位制高校など高等学校教育の改善の方策が次々と提示され、来年度からは家庭科男女履修などの内容を含む新しい教育課程が実施されます。

そうした中で、本校では、良き伝統を踏まえ、健全な次代を担う市民育成を目指しながら、生徒の進路目標達成に適う教育の在り方について、一層の改善努力しなければならないと考えております。

同窓会会員の皆様の変わらぬご鞭撻、ご支援、ご協力をお願いします。新しい同窓会館も出来たことです。気軽に母校にお立寄りください。

東京支部総会に出席して

副会長　久保田敦子

青春時代の良さなんて、後からしみじみ想うものと、関高校同窓会支部総会に出席して、そんな事を感じました。高女卒、高校卒、大正生れ、昭和生れ、老若男女が一堂に集い、ガヤガヤ、ワッハッハとしばらくお喋りが続いた後で、卒業年度順に、前に並んで、自己紹介が始まる。自分の年度以外は知らない顔ばかりなのに、何と言うなつかしさでしょうか。晴々とした、いい顔ばかりが並んでいる。立食パーティでしたが、お喋りに夢中で食べる暇がありませんでした。日頃の苦労を忘れ、若い日に戻って存分に話し、遊びました。どの顔もキラキラ輝いて見えた日でした。

やったゼ！金賞

吹奏楽部　森亮介

昨年九月、僕たち関高吹奏楽部は、静岡県沼津市で行われた「全日本吹奏楽コンクール東海大会」に於いて、岐阜県で初めて金賞をいただき、今までにない程の大きな喜びを感じました。そして、その喜びもさめぬうちに、今度は今年の八月に埼玉県で開催される「全国総合文化祭」の岐阜県代表に選ばれました。本当に夢のようです。

今は、嬉しさと不安と期待でいっぱいですが、当日、最高の演奏ができるよう、常に上を目指して練習に励んでいきたいと思っています。

各自の実力を発揮し 進路目標達成

進路指導部

今春は421名が巣立ちました。進路は進学351名、就職等11名、再受験者59名となりました。

就職について、大卒では内定の取り消しなど話題になりましたが、そのような影響もなく、公務員に6名、一般企業に3名が職場を得ました。先輩の諸氏のお導きをよろしくお願いします。

さて、進学について見てみますと、受験人口が峠を越して「入れる所へ入る」から「選ぶ」時代に入ったとされ、「広き門」になると宣伝されました。が、現実はそれほど変わらず、「厳しさ」を味わったようです。特に不況ということもあって、少しでも学費の少ない国公立大への人気が出、倍率上昇となりました。また、東京などの都市部の大学が生活費の上昇で敬遠され、地元志向が強まって、東海地区は予想以上の激戦が続きました。ただし、中ランク以下の大学では易化となったようです。

入学先でみますと、国公立大87名、私立大189名、国公立短大20名、私立短大36名、専門学校19名となりました。合格延べ数では国公立大115名、私立大618名、国公立短大46名、私立短大89名、専門学校40名でした。特筆すべきは、京大4、名大6、阪大・東北大2、一橋大・東工大・東京外大1、慶応大7、上智大3、同志社大10、などです。また、合格数の多い大学を挙げてみますと、岐阜大24名、静岡大12名、名工大7名、金沢大・信州大・山梨大4名です。私立大では名城大38名、愛知学院大30名、岐阜女子大26名、立命館大25名、愛知大24名、中京大23名などです。

つぎに特筆される点は、女子の四年制大への進学が引き続き増大していることで、全国的傾向と一致している点です。95名進学し、これは卒業女子の56%にあたります。大学も女子学生に期待しているようで、私立大ではすでにありましたが、国立の名工大で来年度から女子の特別推薦制度が導入されます。

かわって、短大・専門学校進学が減少し、とくに看護・医療系では、一段上級をねらって、頑張っています。

高校45回同窓生委員

1組	長岡柘司		
2組	可児利香	土屋寿美	加藤桂
3組	◎三井晶博	尾野戸	裕久美子一
4組	大山川展代		
5組	上杉高広	安田聖子	
6組	栗山敦資	古田麻実子	
7組	石原陽児	山岡亜依音	
8組	◎松井宏臣	山口庸子	
9組	◎印永田亮子	幹事	栗山基

おくやみ

有馬　煌史先生
平成4年10月御逝去
在職昭和37年～40年

林　領一先生
平成5年1月御逝去
在職昭和24年～25年

松本　平治先生
平成5年1月御逝去
在職昭和17年～19年

松原　功績先生
平成5年6月御逝去
在職昭和29年～35年

ご冥福をお祈りします。

平成四年度 同窓職員異動

〔転入〕
教諭（国）　薫田泰子
山県高校より

〔転出〕
助手（理）　大野広美
中濃養護学校へ

事務局だより

▼先頃、「関高校職業別同窓名簿」（鐵庫社）発刊のための調査カードが、往復はがきで皆様のもとに届いたと思いますが、これは関高校同窓会とは何ら関係のないことですので、お含みおき下さい。

▼学年の同窓会を開かれる場合、事務局へご一報下さい。援助金二万円が出ることになっています。又、同窓会員が亡くなられましたらお知らせ下さい。弔電を打たせていただきます。

▼暑さ厳しき折、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。「桜ケ丘だより25号」をお届けでき、編集委員一同この上ない安堵感に満ちております。今回の内容については、どのように感じられましたか。ご意見、ご要望など、皆様のおたより待っています。